

アズマヒキガエルにご注意ください！

アズマヒキガエルは北海道に元々生息していない国内外来種であり、近年道内の各地で急激に繁殖しています。秩父別町内でも数年前から目撃情報があり、昨年は中山地区のため池で成体やオタマジャクシを確認しています。

北海道ではこのカエルが北海道の生態系に著しい影響を及ぼす可能性があるとし、2015年12月に北海道の指定外来種に指定し、これ以上生息域が拡大しないように取り組んでいます。(道では生息地域の把握と、今後の対策に活用するため、目撃情報を集めています。詳しい内容は道HPをご確認ください)

特 徴	・体長約4～16cm、道内の在来種のエゾアカガエル（約5～7cm）よりも大きい。 ・体には大小のイボがあり、特に鼓膜の上にある耳腺が大きく目立つ。 ・オスは黄褐色、メスは赤褐色で、繁殖期のオスは黄色みが強い。 ・成体は動きが遅く、跳ねて移動することはまれ。
生 態	・夜行性で乾燥に強く、繁殖期以外はほとんど水がいない。 ・繁殖期の4～5月にかけて、山林などから浅い池や水たまり等に移動し、集団でひも状の卵の塊（数千個）を産む。 ・繁殖期のみ「クックッ・・・」と小さな声で鳴く。 ・繁殖期以外は山林や草むら等の地面上でも見られる。 ・雑木林や民家の庭などに生息し、住みつくことがある。
駆除方法	・繁殖時期（5月上旬から下旬）に、ひも状のふ化前の塊を池などから上げたり、群れをなす黒色で小型のオタマジャクシを網ですくい、乾燥させる方法が効果的です。



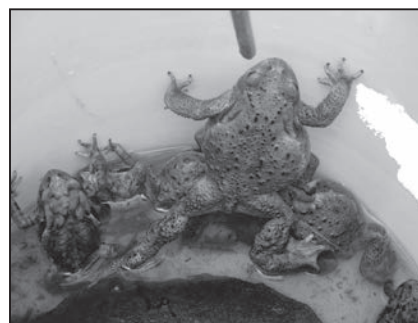
●令和2年の捕獲実績

実施地域	期間	捕獲方法	捕獲個数
中山地区 ため池3か所	5月9日から 1週間程度	カゴ罠 (各池に1個使用)	60匹（成体）
中山地区 ため池	6月17日	網による捕獲	約2,000匹 (オタマジャクシ)

このカエルは人に害を与える生き物ではありませんが、皮膚のイボ（^{じせん}耳腺）などから白色の毒を出し、素手で触るとかぶれたり、口など粘膜に入ると痛みや嘔吐の症状が現れるため、見つけても素手で触らず、触った場合はよく手を洗うように注意してください。



令和2年6月に捕獲されたオタマジャクシ



令和元年8月に捕獲された成体の様子

生息状況等確認のため、アズマヒキガエルの異常発生を確認したときは、役場住民課総合窓口グループまでご連絡ください。

お問い合わせ 役場住民課総合窓口グループ（電話：33-2111 内線43）



Vol.33 「一年の目標」

皆さん、こんにちは。お元気ですか？

新年といえば、「一年の目標」のことを考えないとですね。皆さんは去年の目標をいくつか達成したのでしょうか？

私の2020年の目標は5つ中3つを達成しました。1つ目は、2021年の4月までに私が管理している「Hokkaido Diary」のフォロワー数を4万人から6万人に増やすという目標です。まだ2月ですがすでにフォロワー数が9万人を超えました！それは私が情報発信するたびに、数万人が見てくれるという意味です。とても嬉しいです。

2つ目は北海道のことにもっと詳しくなること。この1年で、私はワカサギ釣りやスキーなどの体験もしてきたので、去年よりは詳しくなったと勝手に思っています(笑)。

最後は新しいプロジェクトを作ることです。私は今、12月に着任した協力隊の森さんと一緒に飲食店をサポートする計画を立てています。町民のみなさんにも後でお見せするので、楽しみにしてください。

では、私の2021年の目標を発表したいと思います。

- ① 2021年中に「Hokkaido Diary」のフォロワー数を13万人まで増やすこと。
- ② 秩父別町に役立つ新しい計画を立てること。
- ③ コロナウイルス感染拡大で去年は受けられなかった日本語能力試験一級に合格すること。
- ④ イラストを上手に描けるようになること。

この1年間も成長する自分を楽しみにしています。

1月に秩父別町役場の前の雪像作りに参加したのですが、ドラえもんの下に「อย่ายอมแพ้ (ヤーヨムペーナ)」というタイ語を入れさせていただきました。日本語で「諦めないでね」という意味で、写真を撮って投稿したら、タイの有名なサイトやテレビのニュース番組などで紹介されました。このような寒さやコロナ禍の中で暖かいメッセージを送りたいと思って書いただけなのに、こんなに注目されると思わなかったです。しかし、無料で良い宣伝になりました。

コロナが収まって、秩父別町のことが気に入ったタイ人が来たら、町民の皆さんもよろしく願いいたします。



雪像作りの様子



「あきらめないでね！」

北海道新型コロナウイルス感染症 健康相談センター

北海道では、新型コロナウイルスに感染した疑いのある方を診療体制の整った医療機関に確実につなぐための「帰国者・接触者相談センター」と「感染症に関する一般相談」の電話番号を全道で統一し、新たに「北海道新型コロナウイルス感染症 健康相談センター」としました。

0800-222-0018 (フリーコール・24時間) ※感染症に関する一般相談

0164-22-1421 ※平日の日中は深川保健所でも相談を受け付けます。

